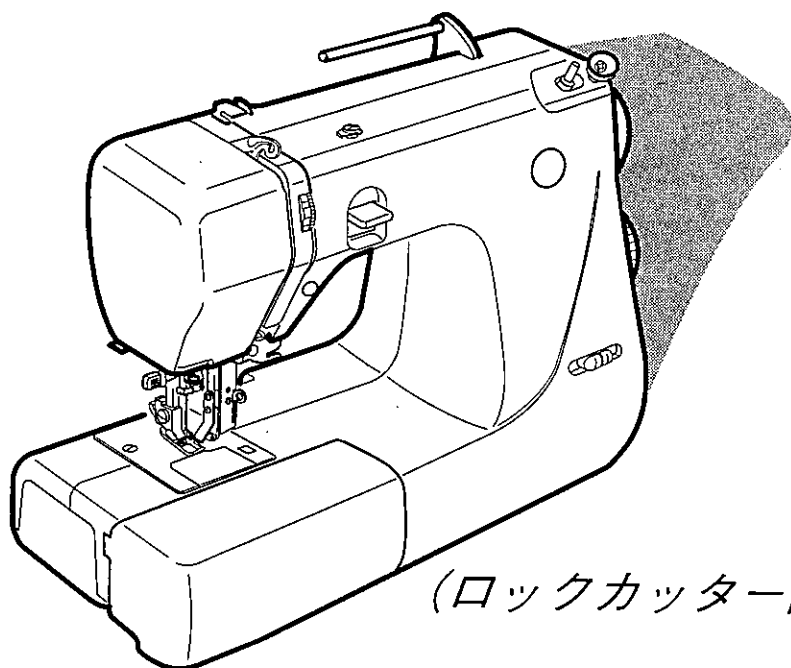


ご使用のしおり

《取扱説明書》



(ロックカッター内蔵)

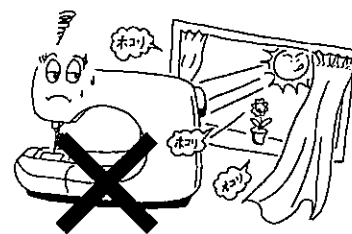
おとり扱いについてのお願い

◇ご使用前に

- ① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。



安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 For use in japan only.

危害・損害の程度を表わす表示

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	---

本文中の図記号の意味

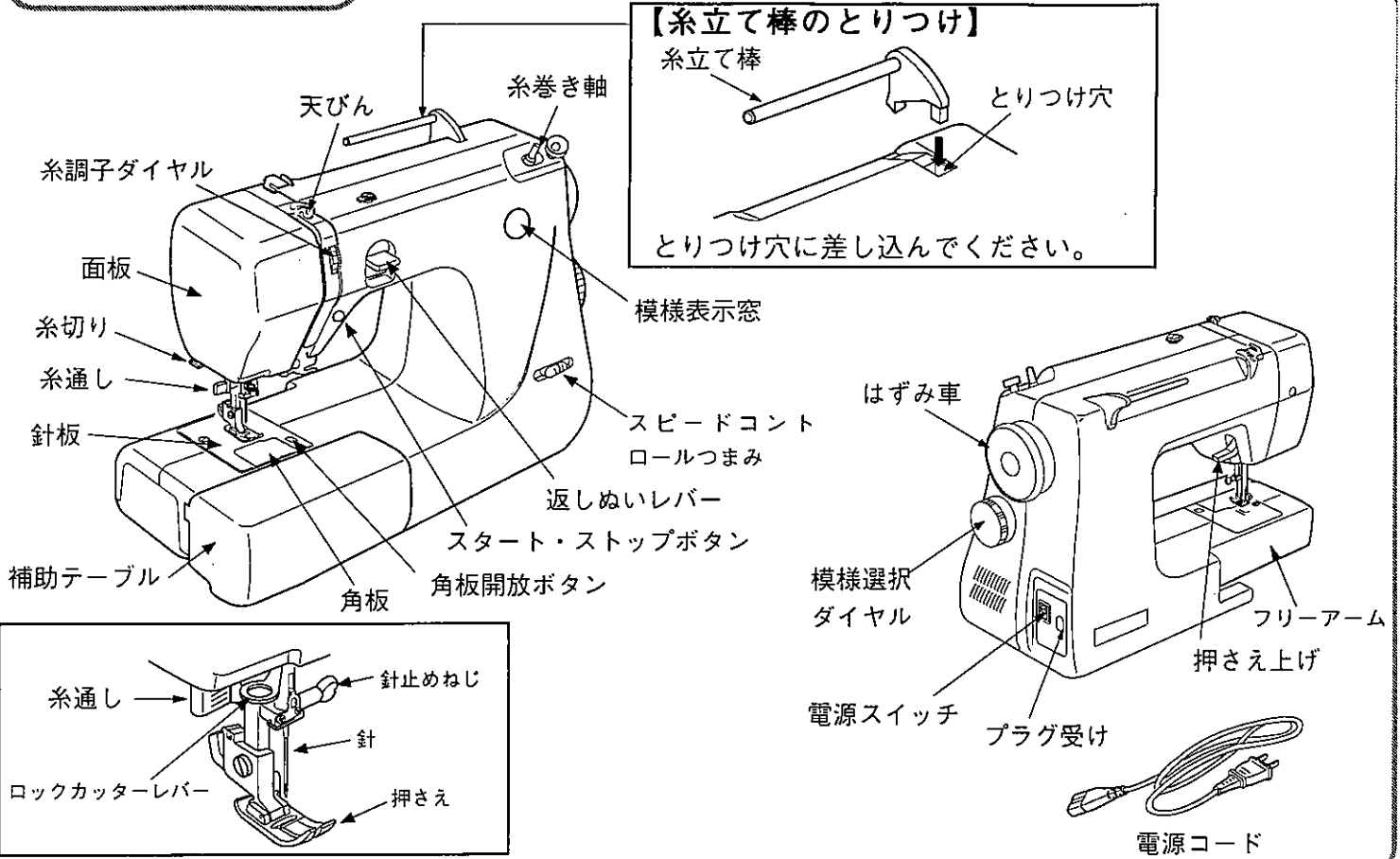
	△ 記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
	⊘ 記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
	● 記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

警告 感電・火災の恐れがあります。	
一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。 必ず実行	以下のような時は、電源スイッチを切り電源プラグを引き抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき

注意 感電・火災・けがの原因となります。	
分解禁止 お客様自身での分解はしないでください。 	必ず実行 ミシン操作時は、面板などのカバー類を開けてください。
接触禁止 ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。 	必ず実行 お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される時は、特に安全に注意してください。
禁止 縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針が曲がり、針折れの原因になります。	必ずプラグを持って抜く 以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・針・針板・押さえ・アタッチメントを交換するとき ・上糸・下糸をセットするとき ・ランプを交換するとき(ランプが冷えてから行ってください。) ・ミシンのお手入れを行うとき
禁止 曲がった針はご使用にならないでください。 	必ずプラグを持って抜く ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 <ul style="list-style-type: none"> ・正常に作動しないとき ・水に濡れたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき
禁止 付属の電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。 このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。	
禁止 電源コードの上に、物をのせないでください。	
必ず実行 針及び押さえは、確実に固定してください。又、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。 針が押さえにあたり、けがの原因になります。	

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

各部のなまえ

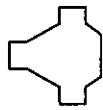


標準付属品

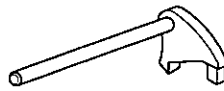
補助テーブルに収納されています。



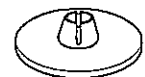
ボビン



ねじまわし



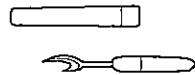
糸立て棒



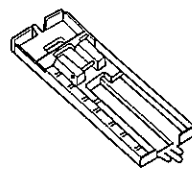
糸こま押さえ



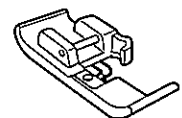
針



目ほどき

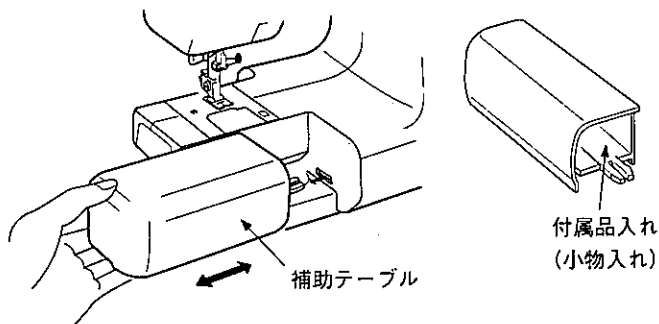


ボタンホール押さえ



かがり押さえ
(ロックカッター用)

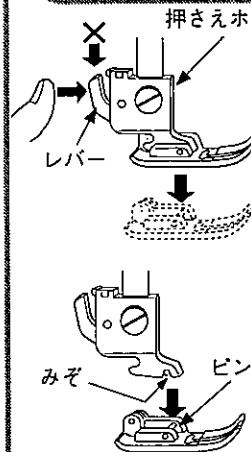
フリーアーム



補助テーブルを横に引いて外すと、フリーアームになります。

補助テーブルは、小物入れとしても利用できます。

押さえの交換

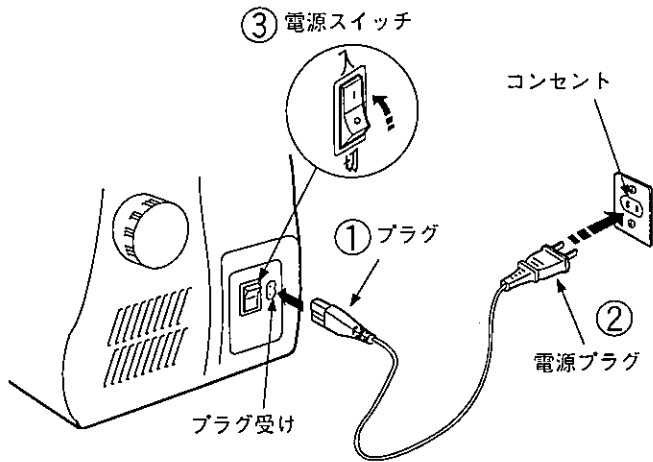


① 押さえ上げをあげ、押さえホルダーのレバーを押してはずします。

※ レバーを押すときは、図の位置を矢印方向に押してください。上から押すと故障の原因になります。

② 押さえのピンを押さえホルダーのみぞに合わせて、押さえ上げを静かにおろします。

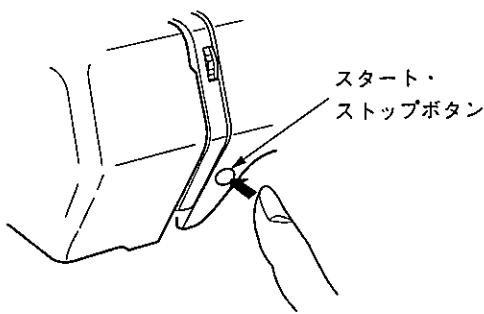
電源のつなぎ方



- ① 電源スイッチを切ってから、プラグをプラグ受けに差し込みます。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③ 電源スイッチを入れます。

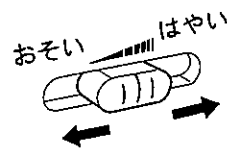
※電源は一般家庭用 (100V 50/60Hz) です
 ※ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。

スタート・ストップボタン



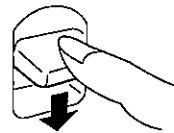
ボタンを押すと、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。
 もう一度ボタンを押すと、停止します。

スピードの調節



ぬう速さは自由にセットできますので、スピードコントロールつまみを、好みの速さにセットしてください。

返しぬいレバー



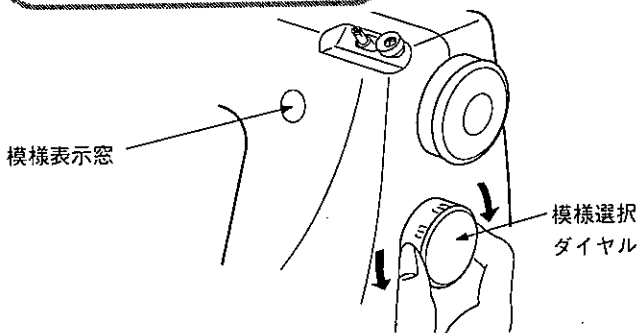
【停止中の返しぬい】

ミシンが動いていない状態で返しぬいレバーを押すと、低速で返しぬいをはじめ、指をはなすと止まります。

【運転中の返しぬい】

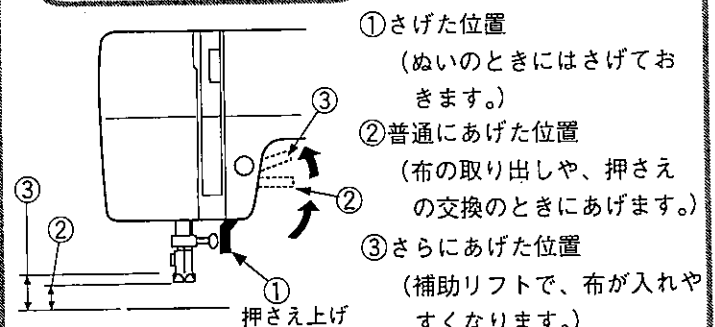
ミシンが動いている状態で返しぬいレバーを押すと、押している間は返しぬいをし、指をはなすと止まります。

模様を選び方



針をあげて模様選択ダイヤルを回し、模様を選びます。
 ※針が布に刺さったままで模様選択ダイヤルを回すと、針が曲がったり、折れたりする原因になります。

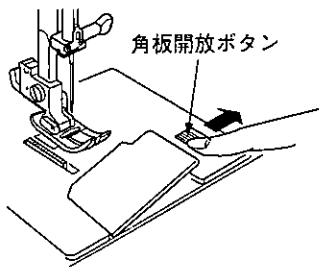
押さえ上げ



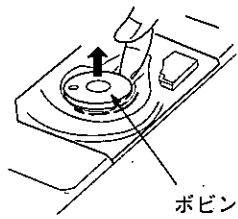
押さえ上げで押さえの上げ下げをします。
 押さえを普通にあげた位置よりさらに高くあげると、押さえはさらにあがります。

下糸の準備

★ボビンのとりだし

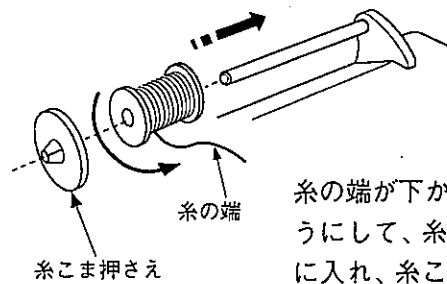


① 角板開放ボタンを右に寄せて、角板をはずします。



② ボビンを取り出します。

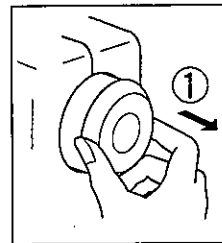
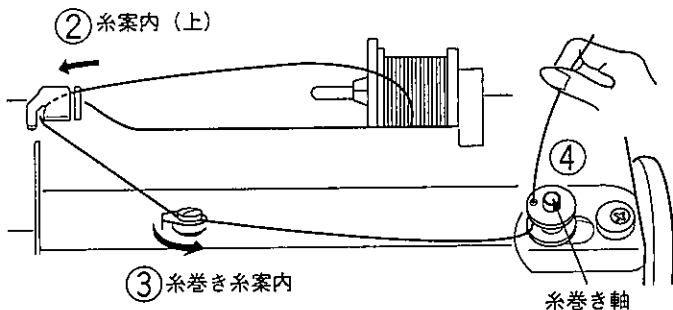
★糸こまのセット



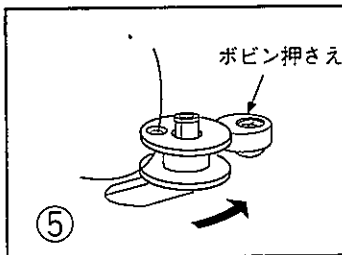
糸の端が下から手前になるようにして、糸こまを糸立て棒に入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

★ボビンに糸を巻く

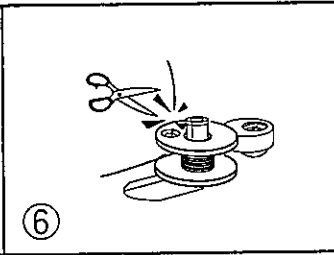
※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。
※ボビンは、ジャンメ専用ボビンをご使用ください。



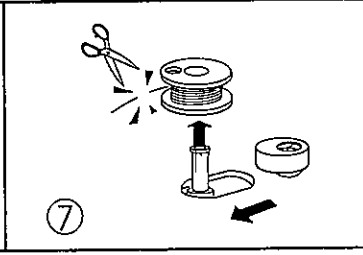
① はずみ車を引き出します。
② 糸案内(上)に掛けます。
③ 糸巻き糸案内に掛けます。
④ ボビンの穴に内側から糸を通し糸巻き軸に差し込みます。



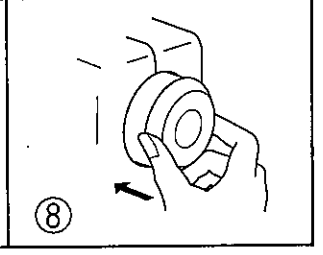
⑤ ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。



⑥ 糸の端をつまんだままミシンをスタートしてボビンに糸が二重ほど巻きついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸を切ります。

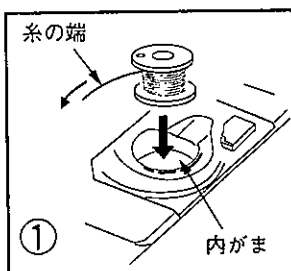


⑦ 再びスタートして、巻き終わったらミシンを止めます。糸を切って糸巻き軸を戻し、ボビンを糸巻き軸よりはずします。

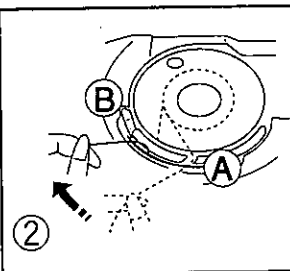


⑧ はずみ車を元の位置(押し込む)に戻します。

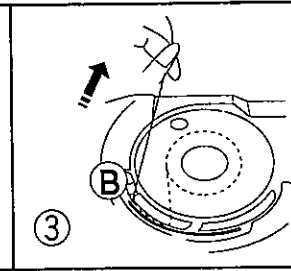
★ボビンのセット



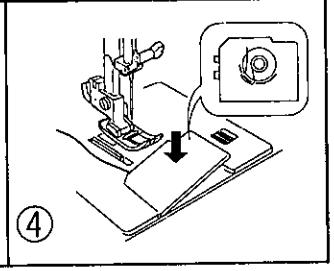
① 糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内がまに入れます。



② 糸の端を引きながら、手前のみぞ(A)にかけます。糸を引きながら左へ移動させ、みぞの外とバネの間を通して、左側のみぞ(B)のところに出します。



③ 糸を左側のみぞ(B)にかけようように、向こう側に出します。

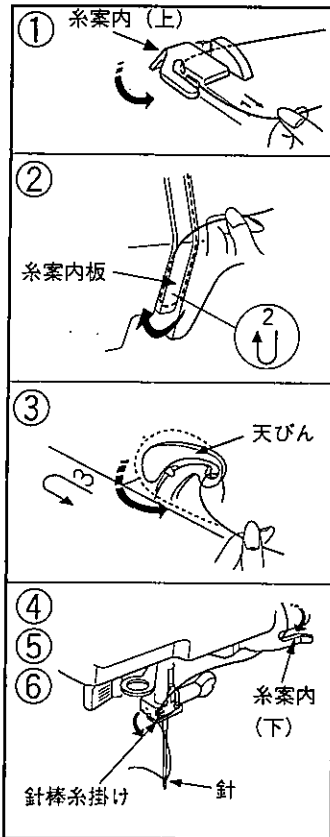
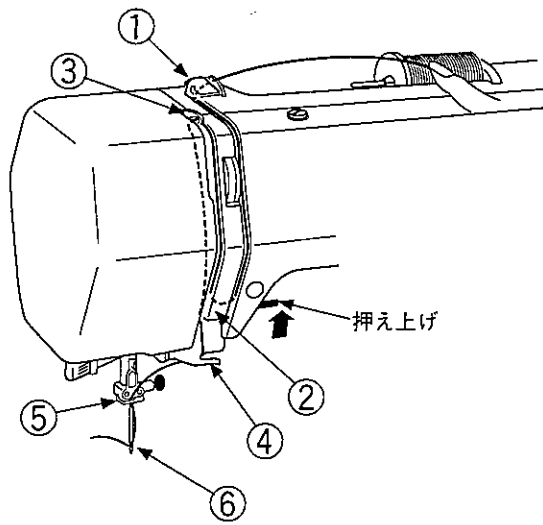


④ 下糸は、10cmくらい引き出して、角板を左側からあわせて、つけます。

上糸の準備

★上糸の掛け方

※糸こまを押さえながら正しく糸を掛けてください。



①押さえ上げをあげ、糸を糸案内(上)に向こう側から掛け、みぞにそって手前に糸を引き出します。

②糸案内板の下を回して右から左にかけ上に引きあげます。

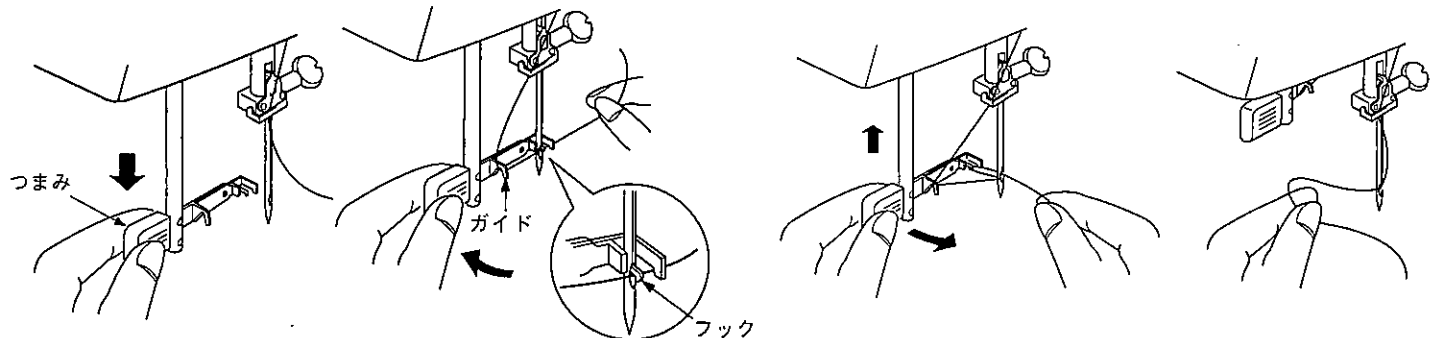
③はずみ車を手前に回し、天びんを一番上にあげます。糸を天びんに右から後ろを回して手前に出し、まっすぐにおろします。

④糸案内(下)に右から掛けます。

⑤針棒糸かけに左から掛けます。

★⑥糸通しを使って針に糸を通します。

★糸通しの使い方



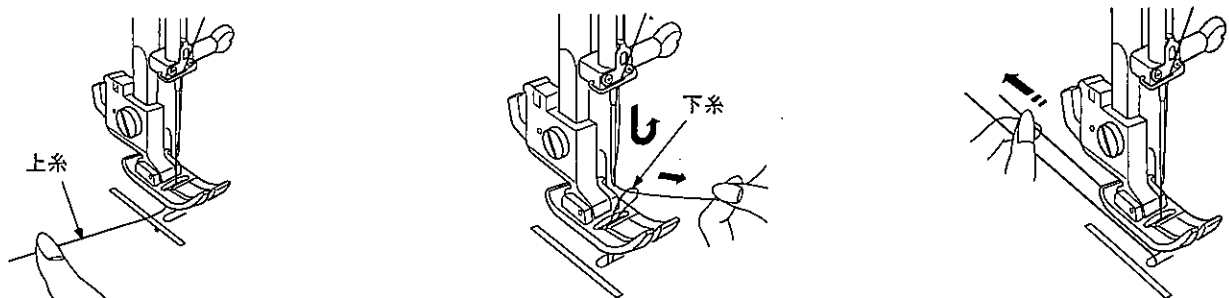
①針を一番上にあげてつまみを止まるまでいっぱい引き下げます。

②つまみを矢印方向へ回してフックを針穴に入れます。糸を左側からガイドとフックに掛けます。

③つまみを矢印方向へ回して糸が輪になって出てきたらつまみを押し上げ糸の輪を引き上げます。

④針穴から端を引き出します。

★下糸の引き上げ方



①押さえ上げをあげ、糸の端を指で押さえておきます。

②はずみ車を手で一回転させ、上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。

③上糸と下糸を押さえの下にして、後ろへそろえて約10cmくらい出します。

直線ぬい

セットの目安

模様



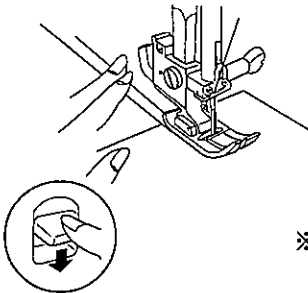
糸調子 2~6



基本押さえ

※模様は、ぬい目のあらかさが異なる3種類があります。

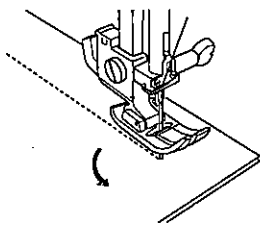
★ぬい始め



糸と布を押さえ、はずみ車を手前に回し、ぬい始めの位置に針を刺します。
押さえ上げをさげて、ガイドラインに合わせてぬい始めます。

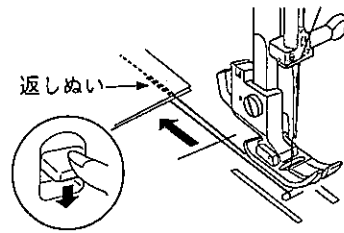
※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいレバーを使います。

★ぬい方向の変更

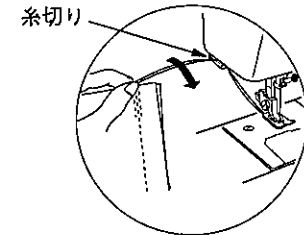


ミシンを止め、針を布に刺し、押さえ上げをあげます。
針を刺したまま、布を回して方向をかえます。

★ぬいおわり



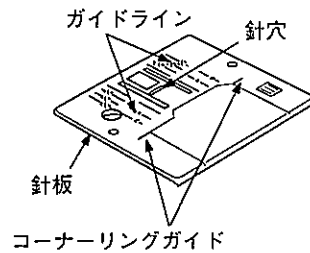
返しぬいレバーを押しながらか数針返しぬいをします。
ミシンを止め、押さえ上げをあげて、布を向こう側に引き出します。



【糸切り】

布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

★針板ガイドラインの利用



ガイドライン・・布端を合わせます。

数字	15	20	4/8	5/8	6/8
間かく (cm)	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

※数字は、針穴中央からガイドラインまでの距離です。

コーナーリングガイド・・

布端がガイドのところきたらミシンを止め、針を布に刺し押さえをあげ、布を回転させます。
(針穴から1.6cmの位置です。)

直線三重ぬい

セットの目安

模様

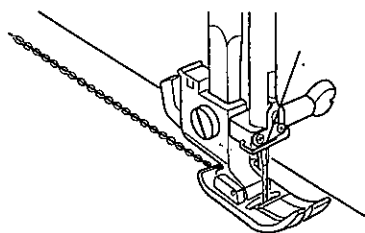


押さえ

糸調子 2~6



基本押さえ



伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利です。

ジグザグぬい

セットの目安

模様



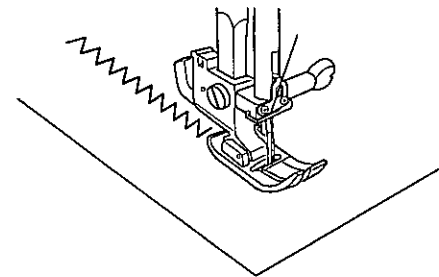
押さえ

糸調子 2~5



基本押さえ

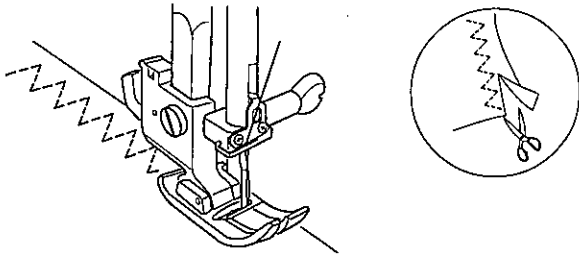
幅 (大) (小)



伸縮性のある布 (ニット、ジャージー、トリコットなど) には、接着芯を貼るときれいにぬえます。

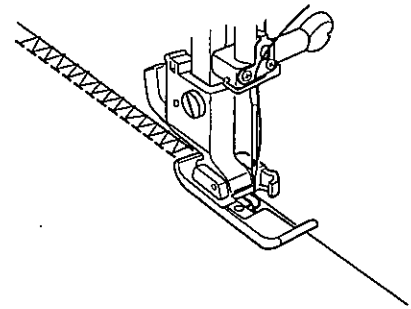
※模様は、(大)、(小) 2種類あります。

トリコットぬいたち目かがり



ほつれやすい布や、伸縮性のある布のほつれ止め布端の反り防止などに利用します。ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

たち目かがり

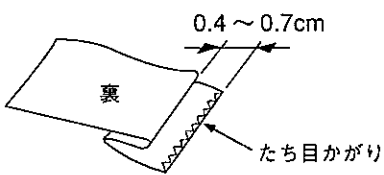


布端のほつれ止めとして利用します。針が右にきたとき、布のきわにおりるようにしてぬいます。
※ジグザグ模様のときは、幅(大)を使用します。

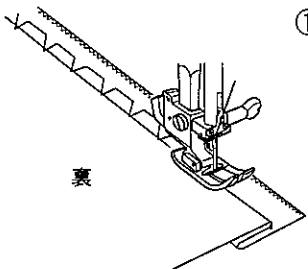
くけぬい(まつりぬい)



【布の折り方】



【ぬい】

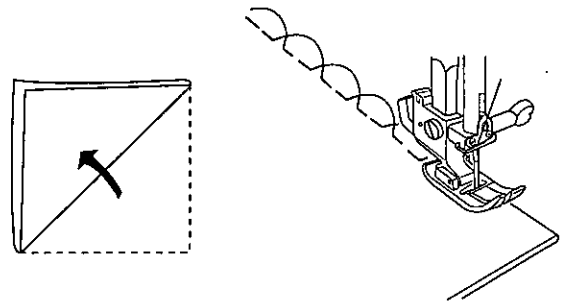


① 針がいちばん左にきたときわずかに折り山を刺すように布をおき押さえ上げをさげてスタートします。スピードコントロールつまみは「おせい」にします。



② ぬいおったら布を広げます。

シェルタック



- ① 布をバイヤスに二つ折りにします。
- ② 針が右にきたとき、布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。




ロックカッター

ワンタッチでロックカッターがセットされ、布を切りながら、たち目かがりができます。

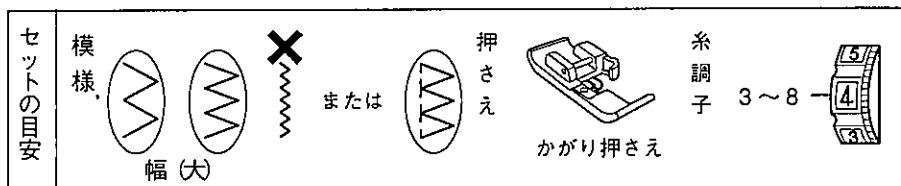
安全にご使用いただくために

⚠ 注意

けが防止のために、以下のことを必ず守ってください。

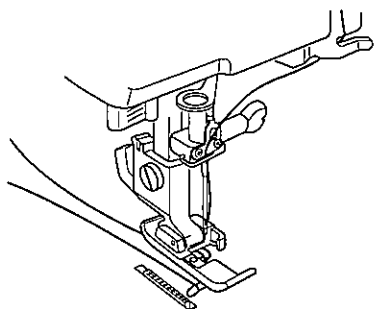
1. ロックカッターをセットするときには、必ず、電源を切ってください。
2. 操作中は、針やロックカッターの動く部分に指を触れるとけがをするおそれがありますので、絶対に指を近づけたり、触れたりしないでください。
3. ロックカッターの切刃部分には、指を触れないでください。
4. ロックカッターを使用するときは、たち目かがり専用の模様 (  または ) を必ず選んでください。
5. 押さえは、付属のロックカッター専用かがり押さえをご使用ください。
6. ミシンの速度は、「おそい」でご使用ください。
7. 操作中は、お子様や他の人を近づけないでください。もし、ロックカッターに触れて不意に動かされると、針が折れたりして危険です。
8. 使用後は、必ず、電源を切ってもとの位置にロックカッターを戻してください。

★ミシンのセット

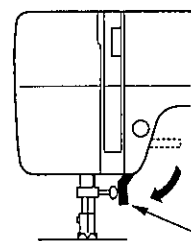


※ぬうものと同じ布で試しぬいをして、ミシンのセットを確かめましょう。

★ロックカッターのセット ※上糸の通し方は普通ぬいするときと同じです。

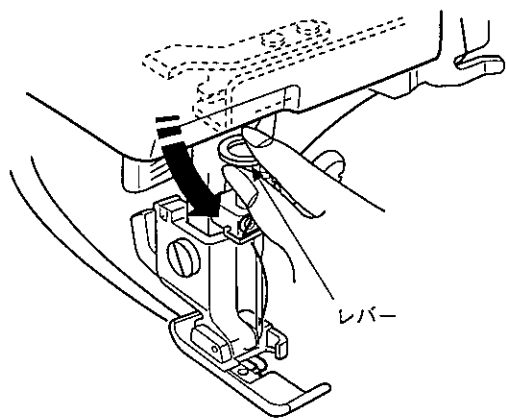


- ① 上糸を通しおえたら上糸と下糸を押さえの下にして、後ろへそろえて10cmぐらい出しておきます。



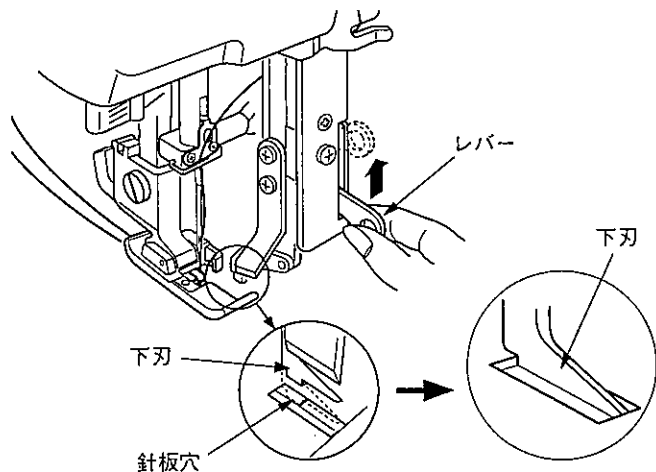
押さえ上げ

- ② 上糸と下糸の準備ができたら、針を一番上にあげて、押さえ上げをさげます。



レバー

- ③ 針が一番上にあがっていることを確認して、ロックカッターレバーを下におろします。



レバー

下刃

針板穴

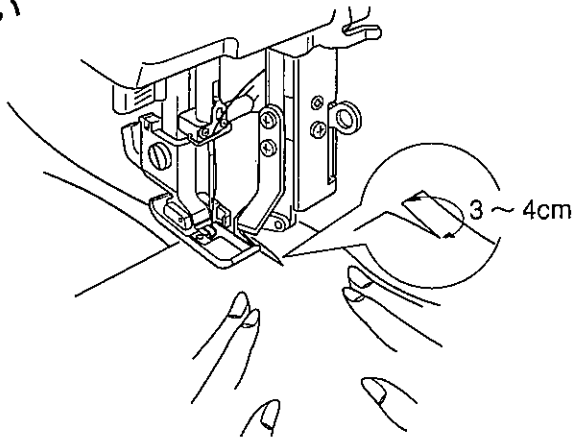
下刃

- ④ ロックカッターがおりたら、レバーを上をあげ、下刃を針板穴にセットします。
※ 下刃が針板穴に確実に入っていることを確認してください。

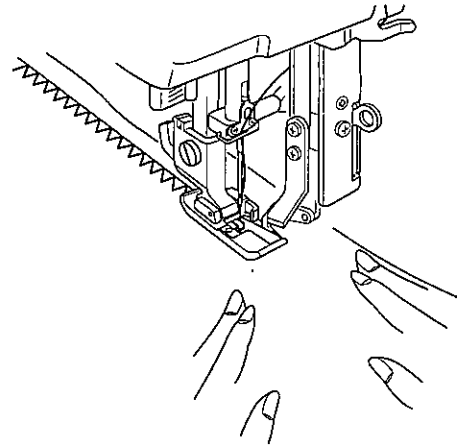


ロックカッター使用時は、絶対に返しぬいはしないでください。
針が折れたりして危険です。

★ぬい

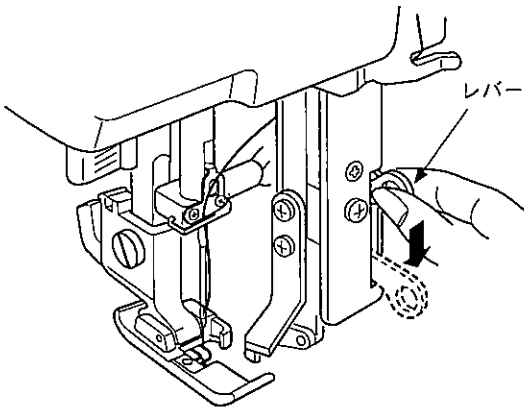


- ① 布のぬい始めを、3～4cm程はさみで切ります。
押さえ上げをあげ、切り口を下刃に合わせ、押さえ
の下に入れます。
※ 切り口の右側布は押さえにかからないようにしてく
ださい。

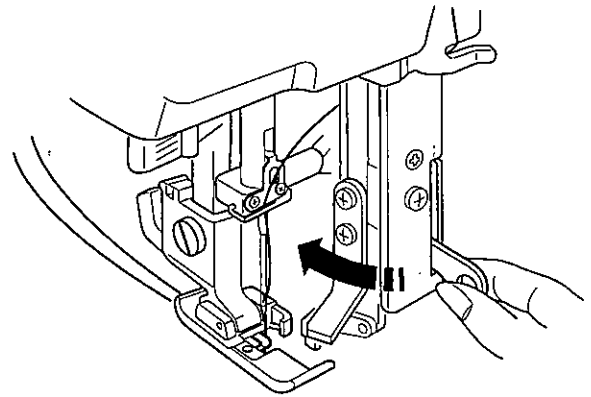


- ② 針を布に刺し、押さえ上げをさげてぬい始めます。

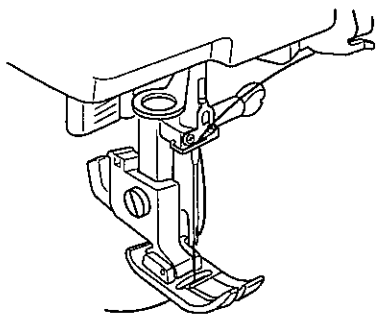
★ぬいおわり



- ① レバーを下にさげ、下刃をあげます。



- ② 押さえ上げをさげ、針が一番上にあがっているか確認
して、レバーをもとの位置に戻します。



- ③ 押さえ上げをあげ、押さえを交換します。

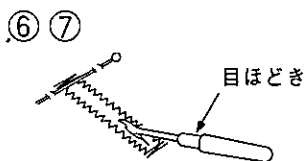
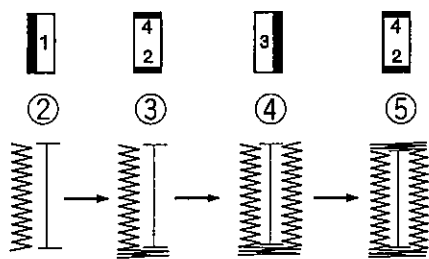
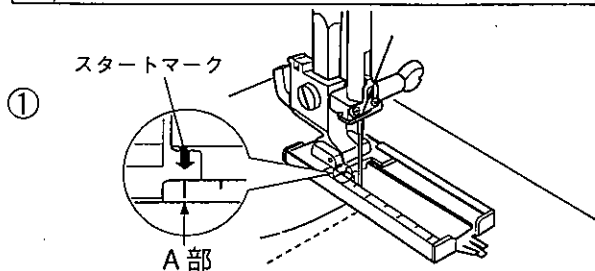
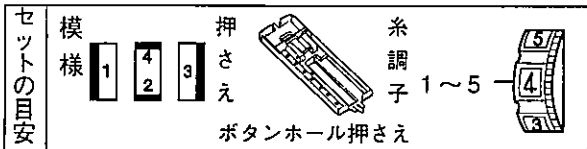
ロックカッター収納時の注意

1. 押さえ上げをさげてから、ロックカッターを収納してくだ
さい。押さえ上げがあがっていると、押さえとあたり破損
の原因になります。
2. ロックカッターが、「カチッ」と止まる位置まで戻してく
ださい。

ご注意

はずみ車を手でゆっくり回したときに、きしみ音がありますが、
トラブルではありませんのでご了承ください。

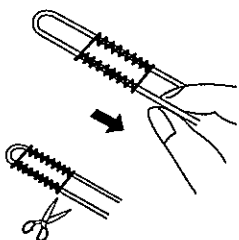
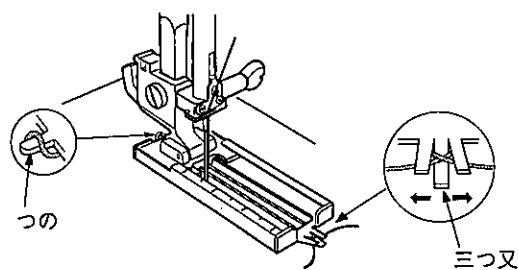
ボタンホール



※ぬうものと同じ布で試しぬいをしてください。
 ※伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を貼ってください。

- ① 模様 1 を選びます。上糸を押さえの穴から通して下糸と一緒に横にそろえておきます。押さえを手前に引きスタートマークをA部に合わせます。
- ② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをおろしてミシンをスタートし必要な長さまでぬってミシンを止めます。
- ③ 針をあげて模様 2 を選びます。かんぬきを5針くらいぬいミシンを止めます。
- ④ 針をあげて模様 3 を選びます。左側と同じくらいぬって、ミシンを止めます。
- ⑤ 針をあげて模様 4 を選びます。かんぬきを5針くらいぬいます。
- ⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10cmくらい残して切ります。上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。
- ⑦ かんぬきの内側にまち針を刺し、目ほどきでかがった糸を切らないように中央部分を切りひらきます。

★芯入りボタンホール

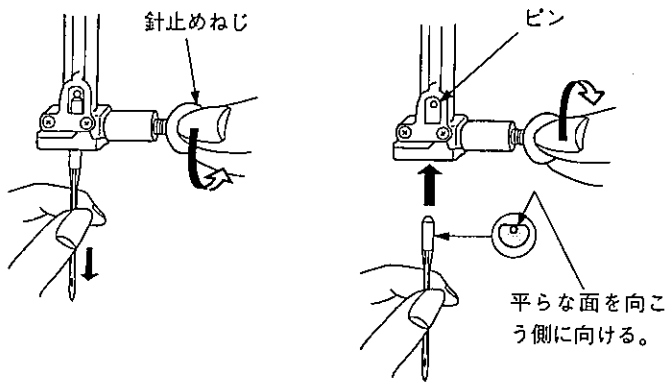


- ① 芯糸の輪を押さえの後ろ側にあるつのにかけ、押さえの下から手前に平行になるように引き出し、前側の三つ又にはさみます。
- ② ボタンホール手順と同じようにぬいます。
- ③ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

針のとり扱い

★針のとりかえ方

! 針のとりかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



- ① 針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針をはずします。
- ② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをかたくしめます。

★布に適した糸や針を選ぶ目安

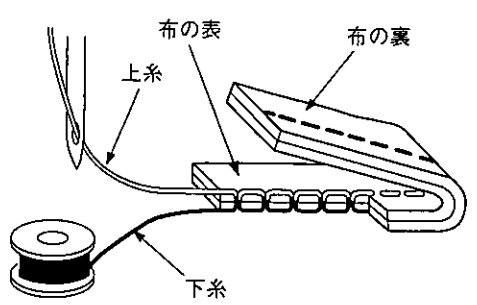
布	糸	針
うすい布 ローン ジョーゼット トリコット ウール 化繊布	絹糸 80番～100番 綿糸 80番～100番 化繊糸 80番～100番	9番～11番
普通の布 普通木綿 化繊布 薄手ジャージー 一般ウール 化繊服地	絹糸 50番 綿糸 60番～80番 化繊糸 50番～80番	11番～14番
	綿糸 50番	14番
厚い布 デニム ジャージー コート地 キルティング	絹糸 50番 綿糸 40番～50番 化繊糸 40番～50番	14番～16番
	絹糸 30番 綿糸 30番	16番

※ 一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に針と糸を選び、ぬいたい布のはぎれを使って試しぬいをしてください。
 ※ 原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。
 ※ 伸縮性のある布地（ジャージー、トリコット）や目とびしやすい布地などには、ジャンメブルー針（別売）を使用すると効果があります。
 （市販SP針も同様の効果があります。）

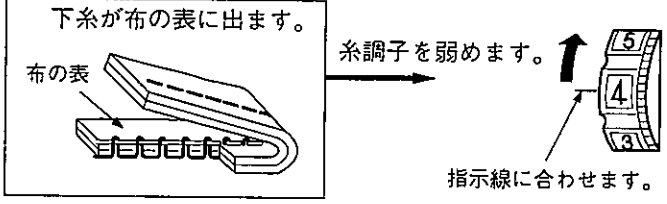
糸調子の調節

素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルをまわして調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり布にしわがよったり、糸が切れたりします。

【正しい糸調子】・・・上糸と下糸がほぼ中央でまじわります。



【上糸が強い場合】



【上糸が弱い場合】

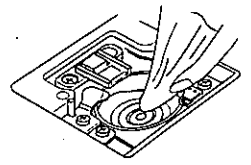
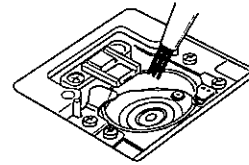
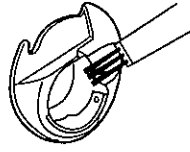
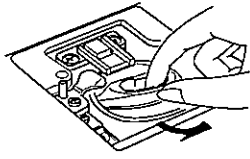
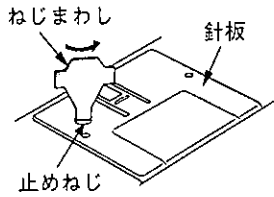


ミシンのお手入れ

★かまと送り歯の掃除

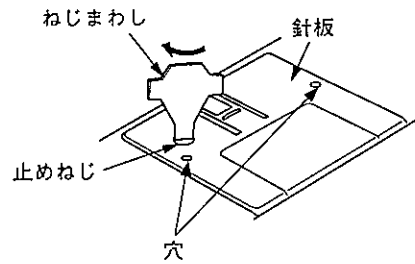
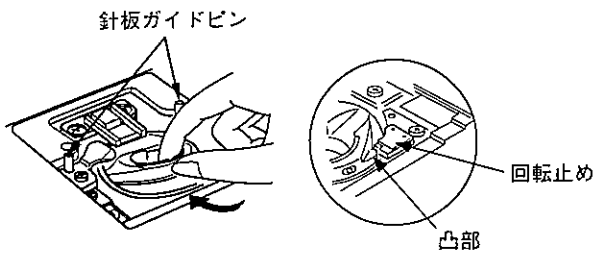


お手入れのときは必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。



- ① 針と押さえをはずします。針板止めねじをはずして、針板をはずします。
- ② ボビンをとり出し、内がまの手前を上引きながらはずします。
- ③ 内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。
- ④ ブラシや掃除機で外がまと送り歯、およびその周辺の糸くずを取り、外がまを布切れで軽くふき掃除します。

★内がまと針板の組みつけ

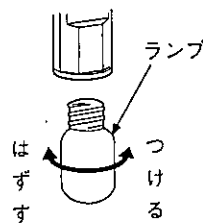
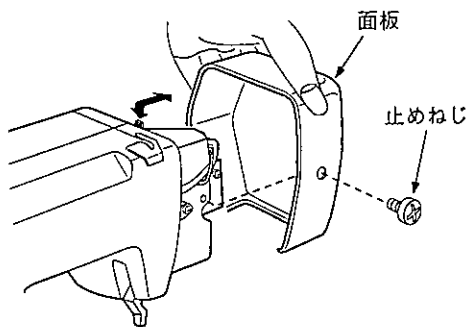


- ① 内がまを差し込みます。
- ② 内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。
- ③ ボビンを入れ、2箇所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴をあわせ針板をとりつけます。
- ④ 止めねじをしめます。

★ランプの交換



電源スイッチを切ってください。
ランプが冷えてから交換してください。



【とりはずし】

- ① 止めねじをはずして、面板をはずします。
- ② ランプを左に回して、はずします。

【とりつけ】

- ① ランプを右に回して、とりつけます。
- ② 止めねじで面板をとりつけます。

ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 上糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所からみついている。 2 上糸調子が強すぎる。 3 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4 針のつけ方がまちがっている。 5 ぬい始めに、上糸と下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6 針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。 	<p>上糸を正しく掛け直す。</p> <p>糸調子ダイヤルを弱める。 針を交換する。 針を正しくつける。 上糸と下糸をそろえる。 適切な針や糸を選ぶ。</p>
下糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 下糸の通し方が、まちがっている。 2 内がまの中に、ごみがたまっている。 3 ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。 	<p>下糸を正しく通し直す。 内がまを掃除する。 ボビンを交換する。</p>
針がおれる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 針のつけ方がまちがっているか、針がまがっている。 2 針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3 針を布にさしたままで、模様選択ダイヤルを回した。 4 布にくらべて針が細すぎる。 	<p>針を交換する。 針止めねじをしっかりしめる。 針をあげてからダイヤルを回す。 針を交換する。</p>
ぬい目にとぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1 針のつけ方がまちがっているか、針が曲がっている。 2 布に対して、針と糸があっていない。 3 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャンメブルー針（市販SP針）を使っていない。 4 上糸の掛け方がまちがっている。 	<p>針を交換する。 適切な針や糸を選ぶ。 ブルー針を使う。（別売）</p> <p>上糸を正しく掛け直す。</p>
ぬい目がしわになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 上糸調子があっていない。 2 上糸と下糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3 布にくらべて針が太すぎる。 	<p>糸調子ダイヤルを調整する。 糸を正しく掛け直す。</p> <p>針を交換する。</p>
ミシンがまわらない。	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2 かまに、糸やごみがたまっている。 3 下糸を巻いたあとはずみ車が元に戻っていない。（糸巻き状態になっている） 	<p>正しく差し込む。</p> <p>かまの掃除をする。 はずみ車を元に戻す。</p>
ロックカッターでうまくかがれない。	<ol style="list-style-type: none"> 1 模様がまちがっている。 2 糸の掛け方がまちがっている。 3 下刃が正しくセットできていない。 	<p>模様を選び直す。 糸を正しく掛け直す。 下刃を正しくセットする。</p>

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 無料修理保証期間内（お買い上げ日より一年間です）およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 使用説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後も、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できないことがあります。
 - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 4) お買い上げ店、又は当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
 - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申し付けください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒104-8311 東京都中央区京橋3-1-1

TEL. 03 (3277) 2468

受付 月曜日～金曜日

(9時～12時)
(13時～17時)

仕 様	
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	55W/ランプ12W
外形寸法	幅35.3cmX奥行15.9cmX高さ26.5cm
重 量	5.5kg (本体)
使用針	家庭用 HA X 1
縫 速 度	毎分650回転

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

